

## 《高女グローバル研修 in USA Day4 (12月11日) 報告書》

目覚めてまず何よりも先に恐る恐るカーテンを開けると、、、YES、積雪！

夜も明けぬうちから除雪が入ったようで、歩道、車道に雪はほぼないものの(融雪剤の残骸がびっしり)、ボストンコモンは完全な雪景色と化していました。それよりなにより完全に空気が昨日までとは別物です。空気が凍っているとでもいうのでしょうか、ぴりっとした緊張感が肌を覆います。昨日までの暖かさが unusual、高女生へのサービスだったのでしょう。いよいよボストンの冬到来です。

雪だし生徒は遅れるかもねー、なんていう大人の邪推を完全に覆し、全員やたら涼しい顔(だって外は氷点下)で余裕の登校です。当たり前前の方が当たり前前ができる、当たり前前でないこと(やらなくても言い訳できること)も当たり前前ができる、これって本当にすごいことなのです。毎日研修という名目で与えられた既定路線を一つ一つこなしているように見えるかもしれませんが、実際にはその枠の間に生徒さん1人1人のストーリーがあることが日記の内容から伝わります。葛藤があったり、悲しくなったり、困ったり、悩んだり、焦ったり、そしてもちろん楽しいこと、感動したこと、新たな発見等、体も心も五感すらも全てをフル稼働させての4日目となりました。

英語クラスも大分軌道にのってきたようですが、授業後外にでると雪はすっかりあがりきれいな青空が。しかし、寒い！

午後はハーバードのキャンパスツアーです。通行人に二度見されるような、あの恐怖の41人大行進をする必要はもうなさそうでしたので、班ごとに Harvard Square 駅の広場集合としました。Harvard の駅も地上出口が数か所あり、出る場所によってはなかなか面倒なことになるため、ランドマークを班長、副班長に示し、彼らの誘導のもと問題なく集合です。キャンパスツアーの開始までお馴染みの COOP (大学生協) や周辺散策の時間とし、15:30 にハーバード像の前からツアー開始となりました。今回キャンパスツアーを担当してくださったのはコンサルタントの松川原氏。彼についてはまた金曜日に講演をいただくため、後述いたします。(Creative Learning の動画を紹介してくださった方です)

「観光的な説明はガイドブックを見てね」からスタートしたツアーですが、1500万冊収蔵されているという図書館、Memorial Church の内部見学など(実際 Harvard は多宗教を認める風習だとのこと)建物について一部ご紹介いただきながらも、その説明だけではなく海外で学ぶということについてお話をいただきながらヤードを見学しました。Harvard/MIT もその台頭に戦々恐々としているというミネルヴァ大学の話や、そもそも日本の高校生は世界基準、アメリカの高校生に比べても引けを取らないどころがとても優秀だが大学で差がつくということ、知識は日本で、発想力は海外にて身に着けるという選択など、金曜日のレクチャーへの布石となったと思います。

その後スミスキャンパスセンターに移動し、研究者の木野先生と合流いたします。木野先生のご専門は公衆衛生学ですが、明日改めてレクチャーをいただく予定であるため、今日はざっくばらんに質問コーナーという形を設けていただきました。(何て贅沢!)警備員が目を光らせ、本来部外者は簡単に入ることができない真新しいキャンパスセンター内にて41人が集えるスペースを探しつつ、辿り着いた先は「ステージ」です。今にも歌い出しそうなフォーメーションをステージ上に組み、木野先生との交流会が始まります。生徒さんからは続々と多種多様な質問が飛び出しました。その一つ一つに言葉を選びながら丁寧にお答えくださる木野先生。

例えば学びのモチベーションとは何かという質問には、高校時代は「いつかのときのために力をつけておこうと思った」が、今は純粋に楽しいからという探究心であるとのこと。昨日の吉永氏のメッセージとリンクする部分が随所にあったと思います。そして何よりも第一線で活躍されている女性です。

明日は木野先生の研究についてもご紹介いただきながら、再度生徒さんからは“熱”をぶつけていただきたいと思います。

今日はここにて解散。相当疲れが溜まってきているのは一目瞭然です。一方で気づけばボストンでの研修も折り返しとなり、語学学校に通えるのは後2日を残すのみとなりました。そう、終わりが見えてきているのです。こんなに頑張っているのに、まだ追い打ちをかけるのですか?との声も聞こえそうですが、ここは敢えて疑問を呈します。「皆さんは今本気ですか?」

授業に必死で取り組む、ホストファミリーとの交流も頑張る、レクチャーも真剣に聞く。

これら与えられたフレームの外にもう余白はなしでしょうか?

ここでしかできないことは、全てやりつくしましたか?

自分のコンフォートゾーンを越えた実感はありますか?

これらの疑問は生徒さんの日記から読み取れた「もどかしさ」でもあります。もう一步踏み出してほしいなという願いを込めて、どうか明日に繋がりますように。



雪の後に広がる青空



このボリュームで1枚\$10!



ハーバード像を囲んで



HVD Students?



これが噂の合格祈願



1年生による渾身のポージング



キャンパスツアー



かじかむ手で必死にメモ



移動中すら貴重な時間



ステージにてQAセッション



真剣に耳を傾けてくれる木野先生



多くの質問が飛び出しました